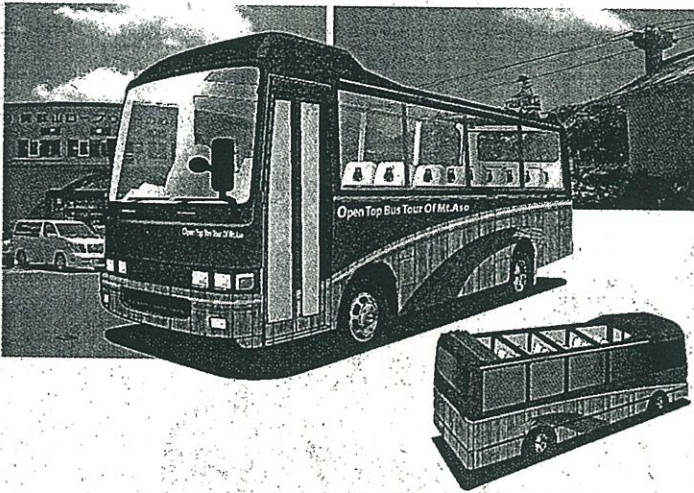


の基本方針を明らかにし「政バス」として運行する。新設する5区役所へが、一定期間後も赤字幅

# 阿蘇で「オープン」バス運行

九州産交バス(熊本市)は7日、九州新幹線鹿児島ルートが全線開通する3月12日から、阿蘇を訪れる観光客向けに、屋根のない「阿蘇山上オープントップバス」の運行を始めること発表した。屋根を取り外したバスは「ほとバス(東京)などが観光ツアーで運行しているが、九州では初めてという。同社は「新幹線開通後の熊本観光の目玉にしたい」と話している。



九州産交バスが運行を決めた「阿蘇山上オープン」トップバスのイメージ図

## 来月12日から九州産交

# 「全通後、観光の目玉に」

必要があったが、今後は選択肢が増えることになる。往復運賃は大人2千円、小学生以下は千円。バスの購入・改造費は総額約600万円。屋根を長さ約5.5m、幅約2.5mにわたって取り外し、側面も景色が見やすいよう特注の大型ガラス窓を使用



導入するのは約20人乗りの小型マイクロバス1台。阿蘇市の草千里から有料道路を経由し、阿蘇中岳火口まで約3・6kmを1日13往復する。有料道路は道路幅が狭く、大型バスが入れないため、これまでツアー客はロープウェイに乗り換える



暴協

によると、宿泊施設の暴排宣言は県内で初めてと



## 熊本市内 5カ所 親水施設、今月末完成

### 「おいしい水」観光客にPR

メシし、赤と茶色をベイスにするという。九州産交バスの森敬輔社長は7日、県庁で記者会見し「阿蘇山の景色を見ながら青い空を満喫でき、おいしい空気も体感

3月12日の九州新幹線鹿児島ルートの全線開通を前に、熊本市は「日本一の地下水都市」をPRするため、市電沿線を中心とした市内5カ所に「まちなか親水施設」を整備する。観光客などに熊本のおいしい水を飲んでもらうため、水飲み場もつくる。施設は今月末までに完成する。市水保全課によると、人口50万人以上の都市で水道水をすべて地下水で

「阿蘇恵みの水」に直径約10mの楕円形の分に溶石石を、半分にサなどの植物を敷き詰め、水が石の間をしみす仕掛けを造る。「せばの水」にはタヌキ地を置き、「城下町の水」には石垣を造るなど、民と意見交換し、地域を生かす設計にした。事業費は約7800円。同課は「九州新幹線熊本を訪れた観光客においしい水を飲んでもいい、城下町を散策するきっかけとしてほしい」と話している。

作し力あった。地工芸青年部・女性部の催。今年が第10回